

受審者からひとこと

ISO14001認証取得にあたり

トヨタルーフガーデン株式会社
環境推進事務局
後藤 聡

1. 会社紹介

当社は、愛知県西加茂郡三好町にて2001年（平成13年）12月に設立し、緑化および園芸を主な事業としています。緑化事業では、特殊緑化（屋上緑化・壁面緑化など）の企画・営業・設計・施工管理・維持管理を行っています。緑化施工先は、工場をはじめ、テナントビルや商業施設など多岐に渡っています。園芸事業では、トヨタ自動車株式会社が開発した新品種の環境改善植物（省管理型コウライ芝TM9やチェリーセイジなど）の生産・販売を行い、緑化工事向けの他に、園芸店やホームセンターへも納入しています。

2003年には東京営業所を開設し、関東圏へも営業範囲を広めています。

2. 導入の背景

近年、お客様からISO14001認証取得や環境活動の枠組みへの参加の要求が高まっていました。それに伴い、事業活動をする上でも認証取得が必要不可欠であり、環境配慮ができる企業に変わっていかねばならないという認識を持っていました。しかしながら、当時の人員では認証取得は困難と判断し、時機を見て取り組むこととしていました。そして、昨年度、人員を増加したことに伴い、本年こそ認証取得の時機到来と判断し、準備を始めることとなりました。

3. 認証取得への足取り

2008年4月に環境推進事務局を立ち上げ、事務局2名体制で認証取得に向けた準備作業を開始しました。ISOについて知識も経験も少ない2人でスタートしたため、当初はすでに認証取得をしている親会社の担当者やコンサルタントの方にアドバイスをいただきながら作業を進めていきました。日々、勉強しながら準備作業をする中で、ISOを推進するには全社員に対する環境教育が重要であることを実感しました。そこで、まず、全社員を対象とした環境教育を計画することにしました。教育は、規格に基づく環

境マネジメントシステム関連の教育と、構築した当社固有のシステムを理解する教育とに分けて実施しました。教育の結果、各部署および営業所に配置した環境推進メンバーの理解が高まり、その後の取り組みがスムーズに進みました。また、各社員が要求事項への適合の大切さを自覚することができました。

準備作業では、最初に初期環境レビューを行い、組織の現状を把握しました。各業務内容を業務フロー図に書き表し、環境に関わる活動を明らかにしました。それらをもとに、環境側面の抽出を行い、当社で定めた環境影響評価に従って抽出した環境側面の中から著しい環境側面を特定しました。また、並行して、法令およびその他の要求事項の特定を行いました。その後、これら初期環境レビューの結果をもとに、環境方針や環境目的・環境目標を定めるとともに、マニュアルや手順書を作成しました。そして、9月より構築したシステムを運用することになりました。

4. システム導入のメリット

環境側面の抽出などを通して、当社の緑化・園芸という事業活動そのものが環境に貢献していることを再認識することができました。全社員でその意識が高まり、通常業務にも良い影響が表れていると実感しています。

委託している業務に関しても、環境の視点で見直すことができました。農薬や肥料に関して、生産委託先へ使用に関わる法令等の伝達や教育を実施したり、使用履歴の管理体制を改善したりすることができました。また、業務内容によって異なっていた外部利害関係者からの情報連絡管理の一元化に着手し、新たな管理体制を確立することができました。これにより、情報の収集・整理が容易になり、さらに検索が効率的になりました。このように、ISOのシステム導入は当社の意識改革をはじめ、業務内容の改善や効率化に大きく貢献しました。

5. 今後の活動

この度、ISO14001認証取得となりましたが、これからの継続的な取り組みが最も重要であると考えています。今後、さらに見直しが必要な項目も明らかになっているため、社員のみならず委託先等も巻き込んで活動を展開していきたいと考えています。